



なかすじっ子

2019年
6月28日

No.13

文責：陸野

6月の生活目標：えい生に気をつけよう！

給食での心温まる風景～本校の良き伝統です～



毎日、給食の時間（12:15～12:50）には、12:25 から放送委員による「お昼の放送」が始まります。

まず、給食メニューについて、給食センターからのお話（「献立」と「今日のひとこと」）を紹介します。例えばこんな感じです。

【6月25日（火）】

★今日のこんだて：「中華飯」「牛乳」「かみかみあえ」「ミディトマト」

★今日のひとこと：「どんぶりご飯」

給食では、月に1回くらい丼（どんぶり）ご飯が出ますね。丼にご飯を入れ、その上に具をのせて食べるようになったのは、室町時代になってからだそうです。

外国では、丼ごはんを食べる習慣がないので、上のおかずと下のごはんを一緒に食べることができず、一緒に盛り付けていても、別々に食べるそうです。

今日は中華飯です。中華飯には、うずらの卵にぶた肉・いか・ほししいたけ・キャベツ・たけのこ・たまねぎ・にんじん・あぶらあげ とたくさんの食材を使ってとても栄養満点の丼になっています。

その後、曜日ごとに異なる番組を放送します。

@月：詩（詩集「なかすじ」より）

@火：クイズ

@水：物語

@木：給食の曲（今は mon さんの歌）

@金：鑑賞曲

そして時々、つぎのような放送が入ります。「今日の誕生者は、〇〇さんです」。

そうです。その日、誕生日の人を紹介するのです。「なかなか、いい取組だなあ」と思っていたのですが、実は、これだけでは終わらないのです。2階から、1階から、クラスみんなで声を合わせて何か言っているのが聞こえてくるのです。

「〇〇さん、お誕生日おめでとう」

「ありがとう」

そうです。誕生者がいるクラスに向かって、他のクラスから「おめでとう」、誕生者から「ありがとう」と、エールを送り合っているのです。心温まるやりとりですね。こんなことが自然にできる、そしてずっと続いているというのは、とても素晴らしいことだと思います。学校教育目標にかかわる「自立・共生・貢献」の「共生」、めざす児童像の「思いやりがあって優しい子」の一つの姿の表れだと思います。

ちなみに、土・日が誕生日の人や、長期休業中が誕生日の人はどうするのかというと、その場合は「誕生日前の給食の時間に放送しよう」ということです。このエール交換は、6年生が1年生に入学したときにはすでにやっていたとのこと。本校の良き伝統の一つです。

心を一つに～エンカウンター朝会～

毎月1回行われる「エンカウンター朝会」。

エンカウンターとは、ホッペを表現し合ったり、活動したりして、互いに認め合う体験をすることです。この体験が、自分や他者への気づきを深めさせ、人と共に生きる喜びや自分の道を力強く歩む勇気をもたらすと言われます。

子どもたちに、改めて仲間の思いや良さに気づき、よりよい人間関係を築いてほしいという願いから、数年前から行っています。

21日は「心を一つに」をテーマに、体育館でエンカウンター朝会を行いました。進行は野村先生でした。

掃除班ごとに手をつないで輪になり、一斉に立ったり座ったりするゲームから。これは、どのグループも簡単にできました。次に、2つの班が1つのグループになって「なべなべ底ぬけ」。途中で手が離れたりするグループもありましたが、どうすればうまくいくかを考え合い、最終的に全てのグループがチャレンジを成功させました。最後に、手をつないだ状態で1つのフラフープを一人ひとりがくぐって1周させるゲーム。1年生も上手にくぐり、上手に成功させました。



活動の後、全体で振り返りを行いました。心を一つにすることはどういうことですか？の質問に、「みんなで協力すること」「相手がどうやったら行動しやすいか考えること」と子どもたち。野村先生からは、ゲームだけでなく、学校生活でも友達のことを思いやって行動し、みんなが思いやりや優しさでつながってほしいという話がありました。

この後、各教室に帰って、一人ひとりがワークシートに振り返りを書いて朝会を終わりました。1年の巴哉くんは、次のように書きました。「みんなで協力できたのでうれしかったです。めっちゃおもしろかったです」。「またエンカウンターをやりたいです」など、次を楽しみにしている子どもたちでした。

